

4 誰もが安心できる滋賀の健康福祉の推進

障害者・子ども・高齢者がいきいき暮らせる福祉社会づくり

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

誰もが安心でき、子ども・障害者・高齢者がいきいきと暮らせる福祉社会の実現を目指し、県民の主体的な参加を得た福祉の多様なサービスの充実を図る。

障害者雇用の環境づくり

障害者が安定した収入を得て、地域において自立し安心して暮らせる社会を目指して、福祉的就労の場への支援に止まらず、福祉的就労から一般就労への移行を促進するとともに、新たな就労の場を設けるなど、より充実した障害者雇用の環境づくりを図る。

（1）新たな就労の場の創出

- ・ 障害者雇用創出事業 21,079千円
- ・ 障害者IT利活用推進事業 18,454千円

（2）就労支援の推進

- ・ 働き・暮らし応援センター事業 6,470千円
（「雇用支援ワーカー」「職場開拓員」の配置については商工観光労働部と連携）
- ・ 小規模通所授産施設運営費補助 122,952千円
- ・ 障害者共同作業所整備費補助 8,371千円
- ・ 共同作業所支援充実強化事業 15,000千円

障害者等の地域生活支援

障害者が住み慣れた地域で自立した生活を送るため、必要となるサービス基盤を整備するとともに、地域におけるきめ細やかな支援体制の整備を行い、障害のある人もない人も誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを目指す。

（1）サービス基盤の整備

- ・ 支援費制度推進事業 1,264,885千円
- ・ 民間心身障害児者施設整備費補助 387,866千円
- ・ グループホーム整備費補助 47,461千円

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

（2）支援体制の整備

- ・ 知的障害者地域生活移行促進緊急体制整備事業 38,017千円
- ・ 自閉症等発達障害支援体制整備事業 13,524千円
- ・ 市町精神障害者生活支援推進事業 5,831千円
- ・ 精神障害者精神科通院医療費助成 2,768千円
- ・ 難病相談・支援センター整備事業 427千円

（3）精神障害者社会復帰施設運営助成事業 853,582千円

地域における子育て支援の推進

平成16年度に策定する「滋賀県次世代育成支援行動計画」に即して、地域の子育て支援の拠点づくりをはじめ、多様な働き方に対応した保育サービスの充実に努めるなど、地域における子育て支援を推進する。

また、乳幼児の保健の向上と健やかな育成を推進するとともに、少子化対策の一環として、できる限り多くの子育て世帯の負担軽減を図るため、医療費の一部に対して助成を行う。

（1）すべての子育て家庭を対象とした子育て支援サービスの推進 200,744千円

- ・ 地域子育て支援センター事業

（2）多様で良質な保育サービスの提供 497,281千円

- （特に、低年齢児保育、休日保育、一時保育、障害児保育）

（3）放課後児童クラブ（学童保育）の充実（162か所） 251,739千円

（4）乳幼児福祉医療費助成事業 653,115千円

子どもの人権を保障していく取り組みの推進

子どもの権利条約の理念を地域で具体化していくため、（仮称）子ども条例の制定に向けた取り組みを進めるとともに、児童虐待を防止するための総合的な対策や児童の自立支援対策の充実に努めるなど、子どもの人権を保障していく取り組みを推進する。

（1）子どもの人権を保障する環境づくり 3,352千円

- ・ 子どもの権利擁護推進事業

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

（2）児童虐待防止総合対策の充実 10,248千円

- ・児童相談所24時間体制強化事業

（3）児童養護施設等の要保護児童対策の充実 12,888千円

- ・児童自立援助ホーム設置事業
- ・施設入所児童自立促進事業
- ・施設入所児童ホームステイ事業

高齢者が豊かに生活できる環境づくり

高齢者の生活を支援するため、介護予防・生活支援の推進や、認知症高齢者やその家族を支える取り組みを進める。

（1）元気な高齢者の社会活動への参画の促進

- ・高齢者社会活動推進のしくみづくり 2,750千円

（2）介護予防・生活支援の推進

- ・介護予防・地域支え合い事業 378,981千円
- ・県民主導介護予防地域づくり促進事業 6,062千円
- ・介護予防推進戦略事業 8,000千円

（3）高齢者の尊厳の保持と在宅生活に対する支援

- ・認知症高齢者・家族地域支援体制づくり 6,787千円
- ・高齢者虐待防止対策事業 1,513千円
- ・高齢者24時間対応型モデル事業 4,059千円

（4）介護サービス基盤の整備 671,351千円

- ・特別養護老人ホーム 4か所（3,771人 3,921人）

- （5）「東近江あったかふれあいタウン」推進事業（東近江） 1,800千円

- （6）湖東地域高齢者地域支え合いシステム構築事業（湖東） 880千円

生涯を通じた健康づくりの推進

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

誰もが人生80年時代をいきいきと過ごすため、生涯を通じた健康づくりへの支援やこれを支える保健医療の充実を図る。

元気に暮らす健康づくりの推進

ヘルスプロモーションの考え方により家庭、学校、地域、職域が一体となった総合的な健康づくり運動を展開し、県民の生活習慣病の減少、健康寿命の延伸を図る。

また、身体に障害のある人が、住み慣れた地域で一貫したりハビリテーションが受けられるよう、体系的なリハビリテーションの提供体制の整備を行う。

（1）健康づくりへの支援

- ・健康滋賀の推進 11,200千円
- 健康づくりサポーター事業 1,976千円
- 地域職域健康支援協働ネットワーク事業 3,525千円
- 日本まんなか共和国健康いきいき交流フェアの開催 9,800千円
- こなん障害者歯科にここ事業（湖南） 1,404千円

（2）保健・予防対策の推進

- ・県立リハビリテーションセンター（仮称）の整備 785,804千円
- 健やか親子ふれあい推進事業 5,994千円
- うつ病対策（自殺予防）事業 1,458千円
- 小児糖尿病支援対策事業（甲賀） 1,260千円

質の高い医療サービスの提供体制の整備

誰もが症状に応じた保健医療サービスを、身近な地域で受けられるよう医療施設の整備を促進するとともに、県民の救急医療ニーズに合致した新たな救急医療体制の構築を図る。

- （1）小児救急電話相談事業 11,567千円
- （2）小児科マップ作成事業 1,960千円
- （3）AED（自動体外式除細動器）普及啓発事業 7,331千円
- （4）救急医療情報システム等運営事業 148,184千円

誰もが住みたくなる福祉のまちづくり

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

誰もが安心していきいきと暮らせる健康福祉社会の実現を目指し、健康福祉総合ビジョンの着実な推進を図るとともに、高齢者や障害者はもとより、誰もが利用可能なユニバーサルデザインのまちづくりを推進する。

ユニバーサルデザインの推進

福祉のまちづくりを一層推進するため、高齢者や障害者はもとより、誰もが安全で快適に生活していけるよう、ユニバーサルデザインのまちづくりの推進を図る。

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------|-----------|
| （１）淡海ユニバーサルデザイン化事業（１２施設） | 103,500千円 |
| （２）ノンステップバスの導入促進 | 1,800千円 |
| ▪（３）ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進 （淡海ユニバーサルデザイン賞、利用者の意見反映のモデル的取組、まちづくりキャンペーン） | 1,050千円 |
| （４）歩行者音声案内システムの社会実験事業（湖東） | 4,191千円 |

新しい地域健康福祉のしくみづくり

子どもや障害者、高齢者等の様々な人たちが、「地域家族」となって身近な地域でいきいきと暮らせるための住民主体の取組に対して支援を行う。

また、県民・利用者主体の質の高い健康福祉サービスの提供と適切な利用の推進、ボランティア活動の促進に取り組むなど、健康福祉総合ビジョンの着実な推進を図る。

- | | |
|---------------------------------------------------------|-----------|
| （１）子ども、障害者、高齢者等がふれあい、いきいきと暮らせる「地域家族」の構築支援「あったかほーむ」づくり事業 | 18,762千円 |
| （２）健康福祉サービス評価システム推進事業 | 2,627千円 |
| （３）権利擁護センター運営事業費補助（市町社協等34ヶ所） | 102,686千円 |
| ▪（４）ボランティア活動研究交流会議開催の支援 | 897千円 |
| ▪（５）「滋賀県ボランティア・地域活動情報サイト」の構築の支援 | 5,583千円 |